

算数科 提案授業Ⅱ

第1学年「数当てクイズをしよう ～大きいかず～」



香川大学教育学部附属坂出小学校
算数科 好井 佑馬

1 授業における担任と支援員さんの役割

子供たちの自立を支えるためには、担任と支援員さんの連携が必要である。それぞれの役割を明確にしなが、子供の困り感を大事にし、支援していきたい。

担任は、活動を行う前に支援員さんと、これから行う活動で子供たちがどのようなことで困るのかを予測して話し合い、それに対してどのように支援をすればよいのかを共に考えていくことが大切だと考えている。

算数の授業で、困難さを抱えている子供の姿に応じて、担任と支援員さんの役割について考えてい。

【指示があってもすぐに行動できない子供】	
担任	支援員さん
○指示を出す前に、「〇〇さん、先生が話すよ」などとその子の注意を引きつけるようにする。 ○板書をする時には、先に言葉を伝えて書き、聴覚と視覚、両方から情報が入るようにする。 等	○担任に注意を向けられていない子供の所に、背中に触れるなどの合図をして、気付かせる。 ○ノートを書き始められていない子供に、ノートのどこに書くかを指で指して確認する。 等

【解決方法の見通しがもてず、困っている子供】	
担任	支援員さん
○解決の自信や見通しをもてるように、難易度の低い課題から提示し、徐々に難易度を高めていくようにする。 ○既習の内容を補助黒板に示した上で、どの部分を見るとよいかを拡大するなどして分かりやすく提示する。等	○個別に、担任が話した大事なことを繰り返して、問いかける。 （反応が無い場合は、担任と同じように、個別に教具等を用いて、既習の内容の確認をしたり、友達に尋ねるように促したりする。）等

【自信がもてず、全体発表をしようとしらない子供】	
担任	支援員さん
○ペアの友達に話す場を設定したり、友達と一緒に発表したりできるようにする。等	○個別に、考えをもてていることを認め、発表を促す。 ○まずは、支援員さんに、次はペアの友達などと話しやすい順で話せるようにする。等

2 学習支援・生活支援

① 座席の工夫

その子供にとって、落ち着ける席はどこなのかを考える。

例えば、注意を持続するのが難しいと思われる子供は、前面の外部からの刺激が少ない場所にすることが考えられる。

また、活動の見通しをもちにくいと思われる子供の前には、「〇〇さんのようになりたい」と思っている子供の思いを大切にしながら、その子供の範になりうる子供にすることが考えられる。これは、その子供の真似をして動くことができるようにするためである。その際、範になる子供にも「みんなのお手本になれるって素晴らしいね!」と見られることへのフォローを欠かさず行いたい。

支援員さんとの連携の点では、個別の支援が必要な子供は、教室の真ん中辺りの席ではなく、窓際や廊下側の列、一番後ろの列にしておく、他の子供の視線を遮らなくなるので、支援員さんが支援に入りやすい。

② 活動時間の始まりと終わりを明確にする支援

見通しをもてないと不安に思う子供にとっては、授業の終了時刻が分からないことで集中力が低下してしまったり、授業の開始時刻が分からないことで休み時間からの気持ちの切り替えが難しかったりすることが考えられる。

そこで、授業の始まりと終わりの時刻を日めくりカレンダーのようにして提示し、視覚的に捉えられるようにする。

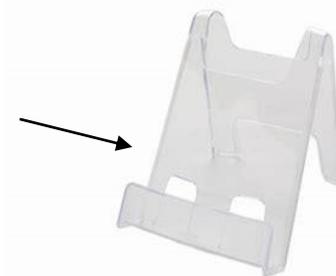
始まりと終わりを明確にすることは、子供たちが安心して活動に取り組める支援となるだろう。

また、「この曲が終わるまでに片付けをしましょう」等のように、活動の時間に音楽をかけることで、終わりの見通しをもたせることができる。終わりの時間が分かることで、自分で行動を考えることができるようになると思う。



～時計掲示の材料～

- PPシート乳白色両面つや消し 2枚
- ホールドブックスタンド 1
- クリアブック替紙 B4 (丈夫なものがよい) 必要数
- カードリング 2個
- 時計を印刷した用紙 必要数



【参考文献】

- ・文部科学省、『小学校学習指導要領解説算数編』, 東洋館出版社, 2008年
- ・重松敬一ら編『算数の授業で「メタ認知」を育てよう』, 日本文教出版, 2013年
- ・大前暁政著、『学級担任が進める通常学級の特別支援教育』, 黎明書房, 2012年
- ・日本数学教育学会編著、『算数教育指導用語辞典 第四版』, 教育出版, 2013年
- ・香川県算数教育研究会、『子どもと算数を創る 一問題解決のための手がかりを見いだし、価値付ける授業づくりー』, 松林社, 2015年
- ・香川県算数教育研究会、『子どもと算数を創る 一数学的な考え方を育てるー』, 松林社, 2005年
- ・香川大学教育学部附属坂出小学校編、『主体的・対話的で深い学びの実現に向けて 授業を変える～5つの視点～』, 文教社, 2018年